

石けんでの手洗いやマスクの着用、健康観察など、保護者の皆様にも御協力いただきながら、寒河江校も様々な対策を強化して学習活動を行っています。修了・卒業まで残りわずか。一年のまとめをしっかりと行っていききたいと思います。

児童会「さがえっこクラブ」

寒河江校の児童会は「さがえっこクラブ」として活動しています。6年生が中心となって、1年生を迎える会や七夕集会などの集会活動の計画や会の運営、クリーン作戦の呼び掛けなどを行ってきました。今回は感染症対策のポスターを作成し、校内に掲示しました。



また、高松小児童会のエコキャップ運動に寒河江校児童会も参加して取り組みました。エコキャップのリサイクルを通じた障がい者雇用や発展途上国の医療支援事業などに使われます。

様々な児童会活動をとおして、「上学年として、自分たちが寒河江校を引っ張っていくんだ!」という気持ちを持ち、頑張る姿がたくさん見られました。

ICTを活用したオンライン交流

2月上旬、感染症対策を行いながら、上学年、下学年ともに朝日少年自然の家に行き、チューブ滑りをしてきました。タブレット端末を使って、現地の上学年と学校にいる下学年とをオンラインで繋ぎ、チューブ滑りの様子を中継しました。下学年の子供たちは中継の映像を見て「早く行きたい!」と期待感と見通しをもち、当日を迎えることができました。青空の下、滑り降りるスピードを体感しながら、何度も繰り返し楽しむことができました。



また、保健室と各教室をオンラインで繋ぎ、朝の会で養護教諭が健康観察を行いました。「〇〇さん、元気ですか?」という呼び掛けに、子供たちは画面の中の養護教諭に「元気です!」と応えることができました。

これまで上・下学年それぞれ合同で行っていた音楽の授業は、感染症対策として各学年に分かれて行っています。そこで、教室同士をオンラインで繋ぎ、互いの演奏を発表し合いました。演奏する友達の様子を画面を通して見たり、画面に映る友達に向かって張り切って演奏したりし、オンラインでの交流を楽しみました。



普段一緒にいる教員や友達との画面越しの交流は、子供たちも新鮮に感じたようです。今後も子供たちの実態に合わせながら、ICTを活用した学習に取り組んでいきます。